

福島県社会福祉事業団

まぶる



2023 Vol.79

表紙写真：会津まつり（会津若松市）

今回は地域で頑張る事業所を紹介いたします。



地域の拠点として (地域生活支援センター いなわしろの取組)



福島県には浜通り、中通り、会津の3地方があります。

当法人が運営する「地域生活支援センターいなわしろ」は、会津地方の名峰磐梯山と風光明媚な猪苗代湖との間に位置した福島県ばんだい荘に事務所を構え、会津圏域13市町村を事業の実施区域として、障がい者(児)が安心して、安全な社会生活を営むことができるよう、基本相談支援・計画相談支援・障害児相談支援とともに、地域生活へ移行するための地域移行支援を実施しています。



会津圏域13市町村

また、下記のとおり2町2村から相談支援事業、地域生活支援拠点事業を、会津圏域(東部)2市2町2村を対象とした県障がい児(者)地域療育等支援事業を受託し、ご本人とご家族のもとに足を運んでおります。



地域生活支援センターのスタッフ



会津地域は山間部が多く、冬には3メートル以上の豪雪地帯に足を運ぶこともあります。また、1日の走行距離が100キロメートルを優に超える日もあります。これから雪道となりますが、お客様の笑顔のために安全運転で乗り切ります。

相談支援事業

受託先・・・猪苗代町、磐梯町、北塩原村、湯川村

受託内容・・・障がい者(児)又はその家族等から、地域で抱える課題等についての相談に対し、福祉サービスを利用するための援助、社会資源を活用するための支援、社会生活を高めるための支援、ピアカウンセリング、権利の擁護のために必要な援助、専門機関の紹介などの必要な情報を提供するとともに、基本相談支援を行っています。

地域生活支援拠点事業(コーディネーター的機能)

受託先・・・猪苗代町、磐梯町、北塩原村、湯川村

受託内容・・・障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、緊急時の受入・対応、体験の場の確保(居住支援のための機能)の体制整備について、町村と連携し、地域の実情に応じた創意工夫により整備し、障がい者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制の構築に協力しています。

福島県障がい児(者)地域療育等支援事業

受託先・・・福島県会津保健福祉事務所

対象圏域・・・会津若松市、北塩原村、磐梯町、猪苗代町、湯川村及び喜多方市(保育所支援)

受託内容・・・障がい児(者)専門相談支援業務、障がい児等療育支援業務、東日本大震災により被災した障がい児(者)への支援を行っています。



理事長 あいさつ

社会福祉法人福島県社会福祉事業団

理事長 太田 健三

初冬の候、皆様におかれましては益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

はじめに、感染症対策についてですが、「新型コロナウイルス」については、新規感染者数が連続して減少傾向にあり、感染症法上の分類が五類移行後の感染「第九波」のピーク時(八月末～九月上旬)の約十分の一になっております。一方、例年冬場に流行する「インフルエンザウイルス」については、八月下旬頃から流行が始まり、県内でも十一月初旬には一医療機関あたりの新規感染者数が二十人を超え、警報レベルに達しており、若年層を中心に本格的な流行が開始となっております。

当法人としては、引き続き基本的な感染対策の徹底やワクチン接種等により、お客様や職員を守りながら事業を継続するとともに、「コロナ禍には制限のあったお客様の面会や外出、そして職員の研修や交流など、徐々に「コロナ前」の状況に戻し、楽しみや潤いのある日常生活を維持していく所存です。

次に、老朽化施設の改築につきましては、特養施設の「福島県やまぶき荘移転改築事業」が、令和六年九月末の完成を目指し、建築工事が進んでおります。また、救護施設の「福島県からまつ荘移転改築事業」につきましては、プロポーザルにより設計者が決定し、基本設計等の策定中です。どちらにも混迷を深める世界情勢等による物価高騰の影響を大きく受けておりますが、創意工夫により、困難を乗り越えつつ愛される施設づくりに取り組んで参ります。

一方、福島県の指定管理施設である障害者支援施設「福島県けやき荘」及び「福島県かしわ荘」の建替計画につきましては、けやき荘が本年六月に供用開始となり、順調に運営できております。かしわ荘についても、本体工事については、令和五年度末に完成の見通しとなっております。当事業団としては、計画が円滑に進行するよう、引き続き県及び関係機関との連携を図って参りたいと考えております。

そして、人材確保につきましては、来年度四月採用の正職員十名を確保したほか、今年度十月採用の正職員を二名確保しました。年々厳しさを増す状況ではありますが、当事業団の魅力を広げ発信し、積極的な人材確保に努めて参ります。

最後に、予断を許さない新型コロナウイルスや猛威を振るうインフルエンザウイルスのみならず、地震や大雪等の自然災害にも万全の備えをとりながら、今後もお客様の「安全・安心」を第一に、地域社会の一員として、法人の使命を果たすべく、果敢に挑戦して参りますので、皆様には一層の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

食堂



デイルーム



中庭



廊下



作業訓練室



障害者支援施設 福島県けやき荘が オープンしました



開所を迎えて



福島県けやき荘
園長
橋本 信男

令和五年八月、設置者である福島県の御尽力により、新しい福島県けやき荘を無事に開所できましたことは、指定管理者である事業団職員の一人といたしまして、大きな喜びであり、皆様の御協力によるものと、心より感謝申し上げます。

新けやき荘の建設にあたりましては、設置者である福島県はもとより、地域の皆様や関係業者の皆様のおかげで御理解と御協力の賜であり、このような立派な福祉施設が完成しましたことに、心から感謝を申し上げます。

けやき荘は昭和四十九年の開所以来、当事業団が運営を担って参りました。その歴史の中には、平成十年の集中豪雨による土砂災害や平成二十三年の東日本大震災など、大変な出来事も経験しましたが、復興の道を歩み続け、今日を迎えております。

現在、新施設に移転して半年が経過しましたが、お客様はもちろん、職員にとっても快適性が増し、サービスの質の向上に繋がっていると実感しております。

新けやき荘は木材がふんだんに使用され、木の温もりあふれる優しい空間になっております。居室は全て個室と

なり、お客様のプライバシーが確保され、テレビやパソコンを置いたり、趣味の物を飾ったりと、旧施設では難しかった自由な部屋作りが可能になりました。

浴室も特殊・中間・一般の3種類の浴槽が配置され、身体状況に合わせた入浴が可能となっております。

最後になりますが、職員一同、スローガンである「笑顔あふれる優しい支援」をモットーに、お客様が安心して楽しく毎日を過ごしていただけるよう支援して参りますので、皆様の御指導と御鞭撻をお願い申し上げます。



多くのご来賓をお迎えし、6月に執り行われた開所式



福島県やまぶき荘(特別養護老人ホーム)



太陽の国敷地内に建設が進められています。令和6年9月末の完成を予定しております。

福島県かしわ荘(障害者支援施設)



けやき荘の隣接地に、建設が進められています。令和5年度末の完成、6年度中の引越を予定しています。

福島県からまつ荘(救護施設)



太陽の国敷地内に建設予定で、現在、基本設計を策定中です。令和8年度内の完成を予定しております。

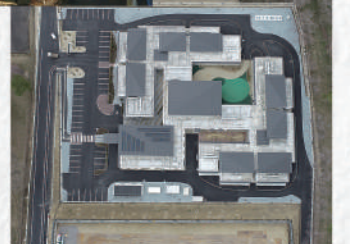
けやき荘とかしわ荘は、県の指定管理施設であり、県の太陽の国障がい者支援施設整備事業として整備が進められています。

やまぶき荘とからまつ荘は事業団の自主運営施設で、老朽化施設改築計画に基づき整備を進めています。

今後の福祉ニーズに対応し、安定的な事業運営を継続するためには、お客様の居住環境整備は必要となり、コロナ禍や円安等により、建築経費への影響が大きくなってはおりますが、情勢を見極め、関係機関と連携しながら、引き続き整備を進めていきます。

施設概要

- 事業内容 障害者支援施設
- 定員 80名
- 敷地 約15,987㎡
- 建物 鉄筋コンクリート造+鉄骨造平屋建
建築面積 約3,555㎡
- 居室等 1人用・2人用・4人用居室
(可動間仕切りで個室として利用可能)
食堂、一般・特別浴室、デイルーム、
地域生活移行訓練室、職員事務室、会議室等
- 住所 〒961-8071
福島県西白河郡西郷村大字真船字芝原29-4
- 連絡先 TEL 0248-25-3104
FAX 0248-25-5033



令和4年度 決算報告

資産の部		負債の部	
勘定科目	当年度末	勘定科目	当年度末
流動資産	1,646,436,297	流動負債	587,349,998
		固定負債	620,904,759
固定資産	7,422,416,631	負債の部合計	1,208,254,757
		純資産の部	
基本財産	3,296,352,424	基本金	10,000,000
		国庫補助金等特別積立金	2,165,902,010
		その他の積立金	3,193,009,000
その他の固定資産	4,126,064,207	次期繰越活動増減差額	2,491,687,161
		(うち当期活動増減差額)	158,087,095
資産の部合計	9,068,852,928	純資産の部合計	7,860,598,171
		負債及び純資産の部合計	9,068,852,928

勘定科目	決算額
大区分	
事業活動による収支	
事業活動収入計	5,562,605,568
事業活動支出計	5,265,067,153
事業活動資金収支差額	297,538,415
施設整備等による収支	
施設整備等収入計	262,544,570
施設整備等支出計	151,154,433
施設整備等資金収支差額	111,390,137
その他の活動による収支	
その他の活動収入計	162,869,203
その他の活動支出計	509,727,869
その他の活動資金収支差額	△ 346,858,666
当期資金収支差額合計	62,069,886
前期末支払資金残高	1,281,768,094
当期末支払資金残高	1,343,837,980

勘定科目	決算額
大区分	
サービス活動増減の部	
サービス活動収益計	5,541,902,731
サービス活動費用計	5,405,453,806
サービス活動増減差額	136,448,925
サービス活動外増減の部	
サービス活動外収益計	20,702,837
サービス活動外費用計	5,603,649
サービス活動外増減差額	15,099,188
経常増減差額	151,548,113
特別増減の部	
特別収益計	269,203,961
特別費用計	262,664,979
特別増減差額	6,538,982
当期活動増減差額	158,087,095
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額	2,690,077,255
当期末繰越活動増減差額	2,848,164,350
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	127,296,000
その他の積立金積立額	483,773,189
次期繰越活動増減差額	2,491,687,161

「事業報告」及び「決算」についての詳細は、福島県社会福祉事業団ホームページ (www.fukushima-sj.jp) の情報公開ページをご覧ください。



役員紹介

職名	氏名	役職
理事長	太田 健三	一般財団法人太田総合病院会長
副理事長	佐久間 弘元	専任
常務理事	関谷 勝浩	福島県社会福祉事業団事務局長
理事	高橋 廣志	西郷村長
理事	竹之下 誠一	公立大学法人福島県立医科大学理事 理事長兼学長
理事	佐藤 博子	公益社団法人福島県看護協会会長
理事	國分 守	福島県保健福祉部長
監事	有賀 秀晴	㈲有賀会計センター代表取締役
監事	佐藤 京子	介護福祉士、介護支援専門員、社会福祉士、 登録手話奉仕員(福島県・白河市)

評議員紹介

氏名	役職
秋山 充司	西郷村教育委員会教育長
尾形 幸子	福島県南保健福祉事務所健康福祉部長
小木 政夫	一の又行政区代表
菊地 浩明	白河市保健福祉部長
佐川 滋	社会福祉法人清峰会理事 兼障害者支援施設さざなみ学園施設長
鈴木 正	白河市社会福祉協議会常務理事 兼事務局長
関 靖男	福島県社会福祉協議会事務局長
中山 隆男	西郷村社会福祉協議会常務理事

令和4年度 事業報告

新型コロナウイルス感染症については、職員に対しては、「施設にはウイルスを絶対に持ち込まない」という共通認識の下、基本的な感染防止策を徹底し、自覚ある行動を求め続けた。しかしながら、感染力が非常に強いとされる変異株の出現により、全国的な第7波、第8波の感染拡大を受け、複数の施設においてクラスターが発生したものの、他施設から応援職員を派遣する等の対応により、事業を継続することができた。

次に、中長期経営計画については、「良質な福祉サービスの継続的・安定的な提供」と「経営基盤の強化」を両輪として10年間実践してきたが、これまでの成果等を検証し、取り巻く経営環境の変化や新たな経営課題等を見極めた上で、次世代を担う職員等の参画により、令和5年度からの新たな計画を策定することができた。

次に、人材の確保については、福祉人材の確保がより一層困難となっていることから、新年度に向けた新規採用職員試験に加え、初めて中途採用試験を実施した。また学校訪問、オンラインによる法人説明会及び求人情報サイトの活用など、積極的な情報発信や求人活動に努め、新規採用職員15名を確保することができた。

次に、「やまぶき荘移転改築事業」については、今年度には移転改築先である太陽の国敷地内の造成工事が完了したが、新築工事に係る入札が不調となり、引き続き次年度以降に取り組むこととなった。また、次に移転改築を予定している「からまつ荘」については、移転改築事業の基本計画を策定した。

加えて、県による「けやき荘」及び「かしわ荘」の改築計画(太陽の国障がい者支援施設整備事業)については、指定管理者の立場で関係機関と連携、協力し、年度内に「けやき荘」の建築工事が完了し、令和5年6月の引越予定となった。また、「かしわ荘」についても、年末に建築工事が開始された。

以上のように、長引く新型コロナウイルス感染症等の影響による在籍率の低下等の課題がある中でも、より一層の財政基盤の強化に努めた結果、老朽化施設の改築に向けた建設積立金を造成することができた。

表紙

会津まつり

会津若松市



毎年9月に行われる会津若松市の「会津まつり」は、秩父宮雍仁親王と松平容保公の孫娘・松平勢津子様
の御成婚を祝って行われた提灯行列がそのルーツと言われており、その後、戊辰戦争で落命した会津藩士
などの霊を慰め、先人に感謝するという意味も込めて行われています。

参加者が歴代の会津藩主などにふんして市中心部を練り歩く「会津藩公行列」には、NHK大河ドラマ
「八重の桜」で主演を演じた俳優の綾瀬はるかさんも特別ゲストとして招かれています。

会津若松市の東に位置する猪苗代町は、猪苗代湖の北岸に面し、磐梯山をはじめとする山々に囲まれた自然豊かな町で、世界的な細菌学者の野口英世博士の生誕地としても知られています。

福島県ばんだい荘わかば・あおばは、当法人が県の指定管理者として運営する障害児入所・障害者支援施設であり、磐梯山の麓に位置しております。



ご利用案内

太陽の国交流センター



◆会議・研修・休憩等
研修室または和室
利用時間 9:00～21:00
※令和5年3月31日をもって
宿泊機能が廃止されました。

福島県勤労身体障がい者体育館



◆定休日
毎週火曜日・祝祭日
◆利用時間
9:00～20:00
フットサルの利用も
可能です！

ボランティア募集

事業団では、多様なボランティアを
随時募集しています。

お話相手・習字・音楽演奏・イベントスタッフ・環境整備など
活動内容は様々です。興味はあるけれど何をしたらいいか
分からない方も、お気軽にご連絡ください。

施設入所のご相談について

ご高齢の方や障がいがある方などに関するご利用を
希望の際はご相談ください。

《特別養護老人ホーム・障害者支援施設・救護施設》

このページに関する
お問い合わせ

事業管理部 施設事業課

☎ 0248-25-3020



まごころ 2023/VOL.79

発行 社会福祉法人福島県社会福祉事業団
福島県西白河郡西郷村大字小田倉字上上野原5-3
TEL 0248(25)3100 FAX 0248(25)4659
URL <http://www.fukushima-sj.jp>
発行日 令和5年12月1日